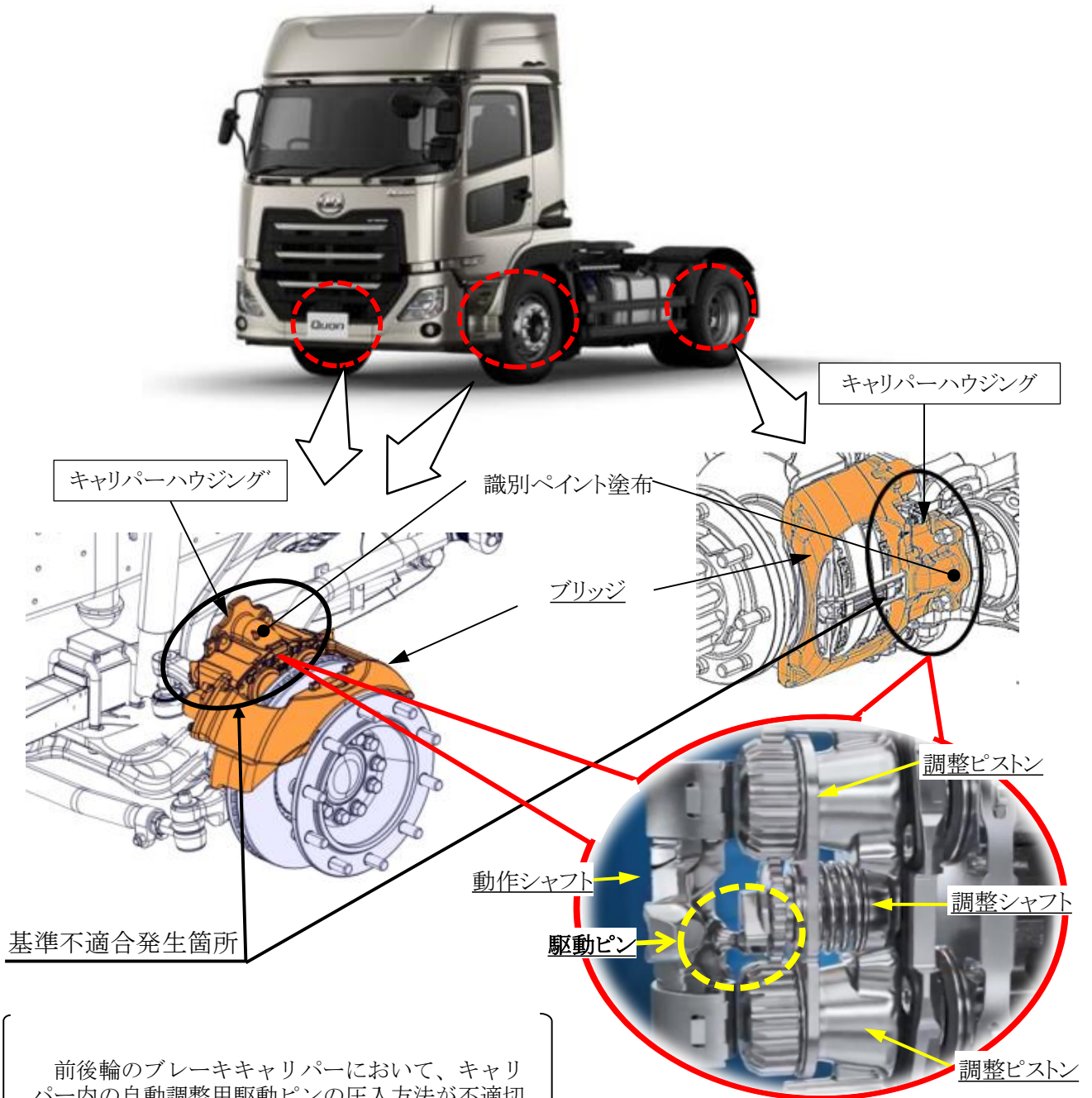


改善箇所説明図



前後輪のブレーキキャリパーにおいて、キャリパー内の自動調整用駆動ピンの圧入方法が不適切なため、ブレーキ操作の繰り返しにより駆動ピンが折損するものがある。そのため、ブレーキパッドの摩耗が進行しても、ブレーキパッドとブレーキディスクとの隙間が自動調整されず、走行ブレーキ及び駐車ブレーキの性能が低下するおそれがある。

キャリパーハウジング内(調整装置構成図)



改善措置の内容

全車両、キャリパーハウジング部のシリアル番号を確認し、該当する場合はキャリパーハウジングを良品に交換する。

注： は交換する部品を示す。

識別： キャリパーハウジングの頭部に白色または黄色のペイントを塗布する。